

| 教科 | 科目名 | 学年 | 単位数 | 必修 選択 |
|----|-----|----|-----|-------|
| 数学 | 数学A | 1  | 2   | 必修    |

|             |  |
|-------------|--|
| <b>到達目標</b> | 場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識し、それらを活用する態度を育てる。 |
|-------------|--|

### 年間スケジュール

| 期間    | 単元・項目名・実施内容など   | 受講に対してのアドバイスなど   | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 1学期中間 | 場合の数と確率 第1節：場合の数<br>集合の要素の個数<br>場合の数<br>順列<br>組合せ                       | もれなく、重複することなく数え上げる方法を理解する<br>公式・性質を正しく活用する<br>円順列・重複順列の考え方を理解する<br>順列と組合せの違いを正しく認識する |    |
| 1学期期末 | 場合の数と確率 第2節：確率<br>事象と確率<br>確率の基本性質<br>独立な試行と確率<br>条件付き確率                | 確率の定義を理解し、基本性質を用いて計算できる<br>独立の定義を理解し、確率を求める<br>条件付き確率の定義を理解し、乗法定理を利用して確率を求める         |    |
| 2学期中間 | 図形の性質 第1節：平面図形<br>三角形の辺の比、外心・内心・重心<br>チェバ・メネラウスの定理<br>円に内接する四角形<br>円と直線 | 中学の内容の復習を踏まえ、定理を正しく理解し活用することができる<br>証明の仕方を理解する                                       |    |
| 2学期期末 | 整数の性質 第1節：約数と倍数<br>最大公約数と最小公倍数<br>整数の割り算と商・余り                           | 倍数の判定法、素因数分解を理解する<br>最大公約数・最小公倍数を理解する<br>余りによる整数の分類（剰余系）を理解する                        |    |
| 学年末   | 整数の性質 第2節：ユークリッドの互除法<br>1次不定方程式<br>整数の性質 第3節：整数の性質の活用<br>分数と小数 n進法      | 1次不定方程式を解くことができる<br>n進法の考え方を理解する   |    |

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>評価方法と評価のポイント</b> | 評価は「関心・意欲・態度・努力」「数学的な見方考え方」「表現力」「知識・理解度」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲・態度、出席状況、ノート点検、定期考査等によって行う。定期考査は年に5回実施する。 |
|---------------------|--|

### 教科からのアドバイス

必ず復習を行い、授業内容を一度振り返ることが大切。傍用問題集を活用して、常に問題演習に取り組む。また、わからない点が出てきたときは、すぐに友達や教員に質問し、一度は理解することに努める。  
**一問でも多くの問題を解こう！**